

8/19 夏休み
経済教室まとめ

15:50~16:00

経済の視点から地理の授業をつくる 中西先生 三橋先生

<再度共有したい内容>



・社会科の授業づくりで大切にしたいこと⇒「問い」とその分解

…MQを支える**経済の視点**をもった数々のSQ

①単発の問い（ネタ挿入的） ②単元課題と関連させる

・深い学びへといざなう**経済の視点**をもった問いの効用

例 SQ・「**アフリカ**はなぜ**国境線**を引き直さないのか？」

・項目を暗記するだけの**静態地誌**からの脱却

・「**概念を活用した**」多面的・多角的な**考察・構想・探究**という
高等学校への**接続がスムーズ**になる

経済の視点から歴史の授業をつくる 今村先生 関谷先生



<再度共有したい内容>

・**経済の視点**を歴史の学習に盛り込むことで多面的・多角的な考察を促す。

⇒歴史の意思決定場面で**行動経済学**の視点を用いる

…主権者として資質・能力に欠かせない視点～VS 認知バイアス～

・自分の立てた仮説を追究しながら、学習課題の解決に向かう

・行動経済学の視点を盛り込みながら、資料作成

ポスター作成

・学習内容と関連する項目を自ら選択

Q・「二度とこのようなことが起きないために、何ができるのか。」

Q・「この学習から学ぶことは何か。」

⇒歴史上の選択を経済の視点を含めて学び、現代に生きる私たちに生かす

課題 ①行動経済学の視点を絞る ②仮説の追究をいかに行うか

見方・考え方を育てる公民的分野の指導（財政）

藤田先生 三枝先生

＜再度共有したい内容＞

・都中社研では「社会の担い手」「社会の形成者」としての力を育成することを目指している。「共生力」「発信力」など

・生徒が主体的に学ぶ学習を重視

Q・「よりよい未来のために、より安心できる財政を考えよう」

テーマ ①環境保全 ②所得の再分配 ③社会の資本整備

④社会保障の充実 ⑤資源の配分 ⑥景気の調整

・主体的な学習やアフターパネルディスカッション等による、生徒の視野の広がり

・生徒が主体的に探究活動をしたことで知識が確実に習得された

・「景気の調整についての考察」は公共以降の学習につなぐ



3分野の学びを通して考えたこと（まとめ）

- ・経済の視点を盛り込むことで**地理**・**歴史**・**公民**の学習はより豊かなものとなる。それぞれの学習内容にはすでに芽が出ている。※ただし、それぞれの分野特有の見方・考え方は落としてはいけない。あくまで理解を深めるための視点である。
- ・今年度は、**高等学校への接続**が大きなテーマになったと考えている。中学校ではどこまで行うか、高校ではどう引き継ぐか。